

特集 採用看護師の教育・研修

新卒看護師に対する研修制度が努力義務化となり、一方、中途採用した看護師の研修、特に OJT (on the job training) が懸案となっている。また、多忙を極める医療現場において、教育を担当する看護師の負担も無視できない。今、病院ではどのような取り組みがなされ、どのような成果を上げているのか。本特集では病院において、新卒・中途採用を問わず、採用した看護師をいかに教育・研修していくかを、事例も交えながら多角的に取り上げる。

巻頭言

池上 直己

【座談会】病院における採用看護職の教育・研修

勝原裕美子・庄野 泰乃・宮城 恵子・神野 正博

「新人看護職員研修ガイドライン」の評価と今後の展望

井部 俊子

病院における採用看護師教育のあり方

上田 順子

教育専任課長の立場から

ウィリアムソン 彰子

中途採用看護師への支援

北浦 暁子

看護師と病院のニーズをマッチングさせるための支援のあり方

深澤 優子

【事例】

大学と病院の連携

松岡 緑

行政の取り組み

矢島 道子

外国人看護師の教育

小松本 悟

【グラフ】東京医科大学病院 卒後臨床研修センター

本郷だより

夢に実家が出てくる時があります。その時に不思議なのは、いつも夢の中では小さい頃に過ごした家の間取りであること。居間、台所、子ども部屋、書斎、庭などなど…子ども時代ではなく大きくなった今の自分が実家にいる夢であっても、なぜか現在家族が暮らしている家ではないのです。年をとると最近のことは忘れても昔のことは憶えている。認知症が始まった祖母を見ていると本当にそうです。そして夢から覚めて今回も小さい頃の家が出てきたと気づく時、昔の記憶ほど深く刻まれるものなのかなと感じます。

将来的には夢の映像化も夢ではないという話があります。脳の視覚野の活動を MRI で計測し、その人が何を見たかコンピュータで画像を再現する実験は、既に成功しています。単純な図形・文字画像について成功したというニュースが数年前のことでしたので、その

後ももっと進んでいるかもしれません。また、以前放映された某ドキュメンタリー番組で、脳の活動を計測して記憶に残る映像であるかを調べ、それをもとにコマーシャルを制作している企業を紹介していました。犯罪予防薬の開発を目指した脳の研究も紹介され、その番組をウェブ用に構成した記事では、取材者が懸念も含めた感想を書かれていて、確かに怖い面もあるなあとうなずきました。

脳科学の発展には夢もあるし、脳の解明が認知症の改善など治療に活かされるなら期待したいと思います。でも、夢の映像化が実際に可能になった時、自分がどんな夢を見たか映像で確かめたいか(ちょっと興味はある)、自分が認知症になって人に頭の中をのぞかletたいか(これはイヤだ)… 皆さんはどうでしょう!?(彩)

(今田・落合・松永)

告知板

第28回日本医学会総会

いのちと地球の未来をひらく医学・医療

4月8日(金)~10日(日) 東京国際フォーラム(東京都千代田区)、他

●プログラム：会頭講演「いのちと地球の未来をひらく：理解・信頼そして発展」矢崎義雄(国立病院機構理事長)、ノーベル賞受賞記念講演「研究に取り組む姿勢や志について」鈴木章(北海道大学名誉教授)、特別企画「病院と勤務医の未来をひらく」、市民公開シンポジウム「みんなで考える新しい医療」、他

○連絡先：第28回総会 事前参加登録デスク

☎ 166-0003 東京都杉並区高円寺南 4-51-1

TEL: 03-3310-2391 FAX: 03-3310-2392

http://www.isoukai2011.jp/

第27回日本老年学会総会

6月15日(水)~17日(金) 京王プラザホテル

(東京都新宿区)、他

活力ある長寿社会をめざして

●開催学会：第53回日本老年医学会、第53回日本老年社会学会、第34回日本基礎老化学会、第22回日本老年歯科医学会、第26回日本老年精神医学会、第10回日本ケアマネジメント学会、第16回日本老年看護学会

○連絡先：第27回日本老年学会総会事務局

☎ 160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

東京医科大学老年病科(羽生)

TEL03-3342-6111 FAX 03-3342-2305

rounen27@tokyo-med.ac.jp

http://www2.convention.co.jp/jgs2011/

第13回日本医療マネジメント学会学術総会

地域で守る患者中心の医療

6月24日(金)~25日(土) みやこめっせ(京都市)

●プログラム：特別講演「多数精鋭のスタッフによるチーム医療の実践」近森正幸(近森会近森病院)、シンポジウム「地域連携クリティカルパスの現状と今後の課題」、他

○連絡先：運営事務局

☎ 530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4F (株)JTB コミュニケーションズ コンベンション事業局

TEL: 06-6348-1391 FAX: 06-6456-4105

13jhm@jtbcom.co.jp

http://13jhm.jtbcom.co.jp/

病院 (第70巻第3号)

2011年3月1日発行(毎月1回発行)

定価 2,940円(本体 2,800円 + 税 5%)

2011 年年間購読料(税込定価、送料弊社負担)
冊子のみ 34,200円 冊子 + 電子版 44,500円
電子版/個人 34,200円 電子版/共有 39,330円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室直通 ☎ (03)3817-5719 FAX (03)3815-7802

販売部直通 ☎ (03)3817-5659・5660 FAX (03)3815-7804

e-mail: byoin@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 横山印刷(株) ☎ (03)3622-6161

広告申込所(株)ハイブリッジエージェンシー ☎ (03)3814-0089/デザイン: デザイン・プレイス

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

【JCOPY】〈(社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 「病院」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/byoin>

(五十音順)

■編集顧問 岩崎 榮・大道 久・河北博文・紀伊國献三・竹内 寛

■編集委員 池上直己(慶應義塾大学教授)・伊関友伸(城西大学准教授)・猪口雄二(寿康会理事長)
神野正博(恵寿総合病院理事長)・広井良典(千葉大学教授)・山田隆司(台東区立台東病院管理者・院長)

■編集協力 笥 淳夫(国立保健医療科学院部長)・中山茂樹(千葉大学教授)